

令和5年(2023年)度 学校自己評価システムシート (私立 春日部共栄中学校)

令和6年3月23日(土)

<学校関係者評価委員会>

《目指す学校像》 全人的人間の育成という精神を基礎として、知、徳、体の調和のとれた豊かな人間性を育み、社会の発展に寄与する有能な人材を養成する。

協議委員(学校関係者) 7名

※達成度：A=充分達成できた B=概ね達成できた C=変化の兆しが見られた D=不十分であった

内部委員(教職員) 9名

評価項目(目標)	具体策と評価指標	達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者評価・要望等
① 「至誠一貫」の精神に基づいた 基本的生活習慣の確立と道徳教育	a 声を出してきちんと挨拶ができるようになるための指導 →学校生活アンケート設問1で①②の回答率80%以上 →学校自己評価アンケート設問1で①②の回答率80%以上 b 公共の場でのマナーや周囲への配慮についての指導 →学校生活アンケート設問2で①②の回答率80%以上 c 相手の立場に立って考え、行動できるようにするための指導 →学校生活アンケート設問3で①②の回答率90%以上 →学校自己評価アンケート設問2で①②の回答率90%以上 d 日常的な時間管理、自己管理の指導 →学校生活アンケート設問4で①②の回答率80%以上 →学校自己評価アンケート設問3で①②の回答率80%以上 e 多面的、多角的、対話的な「道徳」の授業の実践 →学校生活アンケート設問5で①②の回答率80%以上 →学校自己評価アンケート設問4で①②の回答率80%以上 f スマートフォン、SNSの適切な活用 →学校生活アンケート設問6で①②の回答率70%以上	a 挨拶については生徒93%、教員の84%が①②と回答 b 公共のマナーや周囲への配慮は生徒の93%が①②と回答 c 相手の立場に立って考え行動することについては、生徒の90%、教員の79%が①②と回答 d 日常の時間管理・自己管理について生徒の87%、教員の68%が①②と回答 e 道徳の授業については、生徒の87%、教員の79%が①②と回答 f スマートフォン、SNSの適切な活用については、生徒の79%が①②と回答。しかし、中学2年生に限っては、①②の回答が70%を下回っている。	B	・挨拶については、毎年数値が向上していることから、前向きに挨拶をする生徒が増えていることが伺える。しかし、身近な教員以外の人への対応や公共マナーの意識向上が依然として課題である。より高い品格を備えた生徒の育成目指し、誰にでも自然に会釈挨拶できるような指導を継続していきたい。 ・昨年の反省を受け、全教員で時間遵守を働きかけてきたが、生徒教員間で依然意識の差が大きい。安易にチャイム復活を求めるのではなく、教員が範を示しながら、粘り強い指導を心がけていきたい。 ・スマートフォン、SNSの適切な活用は近年の専らの課題。今年度実施した警察の方を招聘しての講話(2回)や学年集会等を継続し、厳しくかつきめ細やかに、低学年時よりブレのない指導を徹底していきたい。	・良い取り組みも数年経つと熱量が失われていくもの。学習生活指導両面で、よいものをどう共有、継承していくかが大切。 ・保護者とはよく連携が取れている様子。細やかに情報を発信し、全教員が共通の指針、方針をもって保護者対応にあたるように。 ・「小さいときは目を離すな。大きくなったら心を離すな」の言葉通り、成長段階に応じて、手をかけることから寄り添うことへサポートの形態を移行させることも大切。 ・家庭学習の充実を目指し成功体験の共有等、生徒同士がお互いに学び、意識しあえる環境構築が必要。 ・文武両道を目指しつつ、高い学力をつけ最難関大学合格者を出せるような学習指導が早急に求められる。
② 奉仕の精神の育成と自治活動の充実	a 日常的な清掃活動への取り組み →学校生活アンケート設問7で①②の回答率90%以上 →学校自己評価アンケート設問5で①②の回答率90%以上 b 状況に応じたボランティア活動、自治活動への取り組み →学校生活アンケート設問8で①②の回答率70%以上 →学校自己評価アンケート設問6で①②の回答率80%以上	a 清掃活動①②の回答率は、生徒94%、教員89% b ボランティア活動等の①②の回答率は、生徒51%、教員63% 生徒教員共に低い数値である。	B	・写真を用いて、具体的に清掃のポイント、やり方を示した掲示物が効果的であり、生徒教員間の意識の差は徐々に解消されている。 ・ボランティア、自治活動は、与えられた課題には積極的に取り組むが、自ら考え先頭に立って行動するという意識はやや乏しい。冷水器の設置や募金型自販機の導入など、生徒が手軽にSDGsを意識できる環境を今後も増やしていきたい。	・文武両道を目指しつつ、高い学力をつけ最難関大学合格者を出せるような学習指導が早急に求められる。
③ 保護者との連携	a 保護者との日常的な意思の疎通 →学校自己評価アンケート 設問7で①②の回答率80%以上 b 保護者の意見に耳を傾け、期待に沿えるような努力 →学校自己評価アンケート 設問8で①②の回答率80%以上	a 設問7の①②の回答率 94% b 設問8の①②の回答率 100%	A	・保護者とは良好なコミュニケーションが図れている様子。保護者会、面談、説明会への参加率も高い。今後とも保護者の期待に応えられるよう、丁寧な情報の提供、共有に努めていく。	・定期考査を軸に、その他テストを有効活用し、きめ細やかな学習指導を心がけてほしい。
④ 学力向上を目指した各種の取り組み	a 生徒個々の学習到達度を踏まえた補習等の実践 →学校自己評価アンケート設問9で①②の回答率80%以上 b 状況に応じた宿題、課題の提供と確認 →学校生活アンケート設問10で①②の回答率80%以上 →学校自己評価アンケート設問10で①②の回答率80%以上	a 補習等の実践について①②の回答率89%(昨年比+21%) b 宿題課題の取り組みについて①②の回答率 生徒72%、教員84%	A	・短期、中期、長期目標を明確に生徒に伝え、生徒が授業や講習で達成感を得られるようなものにしていく。課題も出させることに終始することがないよう、内容の精査やレベルを踏まえた段階的な課題の提示等工夫が必要。	・デジタル教材・機器が充実してきた今だからこそ利便性を大切にしつつも、生徒教員間の人間同士のやり取りを大切にしてほしい。
⑤ 2期制・週5日・45分7限授業および2コース制を踏まえた取り組み	a 2期制を踏まえた授業や各種試験、学習の仕掛け等の工夫 →学校自己評価アンケート設問11,12で①②の回答率80%以上 →学校自己評価アンケート設問13,14で①②の回答率80%以上 →学校生活アンケート設問11,12,14で①②の回答率70%以上 b 長期休業中の取り組みと工夫 →学校生活アンケート設問13で①②の回答率70%以上 c コース別活動の充実 →学校生活アンケート設問15で①②の回答率80%以上	a 学校自己評価アンケート 設問11 ①②の回答率 94% 設問12 ①②の回答率 89% 設問13 ①②の回答率 89% 設問14 ①②の回答率 68% 学校生活アンケート 設問11 ①②の回答率 60% 設問12 ①②の回答率 70% 設問14 ①②の回答率 70% b 設問13 ①②の回答率 75% c 設問15 ①②の回答率 89%	B	・昨年に引き続き家庭学習の定着は依然として課題である。自学自習管理ツールを有効に活用し、長期休暇期間中も含め、学習習慣の確立を促していきたい。ただし、学年を追うごとに家庭学習時間は長くなっている。中学3年では目標とする数値を超えている。学習指導の一定の成果と捉え、更なる拡充を図っていきたい。 ・コース別活動については、90%近くの生徒が興味関心を持っている。セカンドステージへのスムーズな移行と、更なる情報の共有、役割分担の徹底、内容の充実にも努めたい。	・ポストコロナ時代にマッチした学習スタイルを確立するとともに、今後もスパイラル学習、AL(アクティブラーニング)、グローバル教育を継続的に進めてもらいたい。
⑥ リーダーズプログラムの実践と有効活用	a 「ワールドビュー」充実のためのはたらきかけ →学校自己評価アンケート設問15で①②の回答率70%以上 b 講演会やK-SEPを、より効果的なものにするためのはたらきかけ →学校自己評価アンケート設問16で①②の回答率80%以上 c 各種検定試験、コンテスト等への積極的な参加とはたらきかけ →学校自己評価アンケート設問17で①②の回答率80%以上 d Chromebookの有効活用の促進 →学校生活アンケート設問19で①②の回答率80%以上 →学校自己評価アンケート設問18で①②の回答率80%以上	a 「ワールドビュー」充実について①②の回答率 52% b 講演会やK-SEPについて①②の回答率 68% c 各種検定、コンテストへの積極的な参加 ①②の回答率 68% d Chromebookの有効活用について①②の回答率 生徒92%、教員73%	C	・「ワールドビュー」は朝学習の一環として毎日取り組んでいるが、電子化により形骸化していないか。日々の活動がどう将来につながっていくのか折に触れて伝えていくことが大切。 ・コース活動とリンクした講演会、行事の実施、K-SEP・GEPを通じた国際教育の更なる充実を図りたい。 ・Chromebookは、様々な学習の場で積極的に活用されている様子が窺える一方、不適切な使用や雑な扱い方など指導の継続が必要。	・ワールドビューやKSEPなど魅力的なプログラムがある。その意義、効果をしっかりとして生徒に伝え、意欲的に取り組める内容になるよう更なる改善に努めてほしい。